

令和8年度大学・高専機能強化支援事業
（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）「成長分野転換枠」＜継続分＞
申請書

令和8年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	立命館大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	京都
大学全体の総収容定員	36,542 名 ※令和7年5月1日時点		
学部学科組織構成	法学部（法学科）、経済学部（経済学科）、経営学部（経営学科、国際経営学科）、産業社会学部（現代社会学科）、文学部（人文学科）、理工学部（数理科学科、物理科学科、電気電子工学科、電子情報工学科、機械工学科、ロボティクス学科、環境都市工学科、建築都市デザイン学科）、国際関係学部（国際関係学科、アメリカン大学・立命館大学国際連携学科）、政策科学部（政策科学科）、情報理工学部（情報理工学科）、映像学部（映像学科）、薬学部（薬学科、創薬科学科）、生命科学部（応用化学科、生物工学科、生命情報学科、生命医科学科）、スポーツ健康科学部（スポーツ健康科学科）、総合心理学部（総合心理学科）、食マネジメント学部（食マネジメント学科）、グローバル教養学部（グローバル教養学科）		
事業計画名	立命館大学 人の健康と持続可能な世界・社会の構築、“Well-being”を実現する、新たな化学・生命科学教育への転換		

2. 事業概要

本学生命科学部において、先端・応用化学科（学科名称変更、入学定員29名増）、応用生命科学科（学科名称変更）、生命情報学科（入学定員10名増）、生命医科学科（入学定員26名増）によるカリキュラム再編および定員増を行う。<u>カーボンニュートラルやエネルギー、食料、バイオものづくり、バイオデータサイエンス、予防医学、次世代診断、医療評価技術など教育研究の改革・拡張を図り、学部段階から研究室での研究活動の充実化をさらに図ることで、環境・エネルギー問題、超高齢社会、気候変動・食糧問題をはじめとする諸問題に取り組む人材を産業界・自治体との連携のもと育成する。滋賀・関西に集積する化学・生命科学関連産業との地理的優位性を活かし、総合的・統合的かつ“Regenerative（刷新）”な展開を通じて、人の健康と持続可能な世界・社会の構築および“Well-being”の実現を目指し、地域関係者および海外大学との連携のもとグローバルな観点での課題解決および関連分野の研究・産業の進展に貢献する。</u>

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和10年度					
認可申請・届出の別	認可申請及び届出					
改組内容	既存学科の収容定員の増加					
設置等組織名	生命科学部					
設置等組織の学位分野	理学関係	工学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	滋賀県草津市					
入学定員	325 名					
収容定員	1,300 名					
入学定員の増加数	65名					
他学部等の入学定員の減少数	—					

事業計画名	立命館大学 人の健康と持続可能な世界・社会の構築、“Well-being”を実現する、新たな化学・生命科学教育への転換				
-------	---	--	--	--	--

基本情報					
改組予定年度	令和10年度	設置等組織名	生命科学部	入学定員増数(合計数)	65名
所在地	滋賀県草津市	改組内容	既存学科の収容定員の増加	入学定員減数(合計数)	—

社会や地域のニーズ・課題	・気候変動、環境汚染への対応、食糧・エネルギー需要増加に対応する技術変革ニーズ ・超高齢社会に対応する医科学・バイオテクノロジー・データサイエンス人材育成 ・GXの推進、脱炭素社会の実現に向けた研究開発ニーズ、人材育成 ⇒人と社会が持続性を保ち、新たな未来を切り拓くための研究開発ニーズおよび人材需要の高まり				
--------------	---	--	--	--	--

設置学部等の概要・コンセプト・特徴など	・カーボンニュートラルやエネルギー、食料、バイオものづくり、バイオデータサイエンス、予防医学、次世代診断、医療評価技術などの教育研究の改革・拡張 ・学部段階から研究室での研究活動を充実化。環境・エネルギー問題、超高齢社会、気候変動・食糧問題をはじめとする諸問題に取り組む人材を、産業界・自治体との連携により育成 ・総合的・統合的かつ”Regenerative(刷新)”な化学・生命科学の展開を通じて、人の健康と持続可能な世界・社会の構築および”Well-being”の実現を目指し、海外大学との連携のもと、グローバルな観点での課題解決および関連分野の研究・産業の進展に貢献				
---------------------	--	--	--	--	--

多様な入学者の確保	・社会人を対象に、カーボンニュートラル・環境・食料・エネルギー・医療福祉分野を中心とした研究会や公開講座、授業科目履修の機会を提供 ・滋賀県内の中学校・高等学校理科教諭を一定期間研究室で受け入れ、高度な理科教育に必要なリメディアル教育を実施 ・地域の小中高生を対象として開催している公開授業を活用し、関連分野への関心を高める機会をさらに強化。理系女子学生の確保について、女子生徒向け説明会の開催対象を拡充				
-----------	--	--	--	--	--

連携を通じた教育体制の整備	地域自治体 地域をフィールドとした医療・健康・環境・食料等領域における教育展開の充実化 産業界 共同研究の展開とともに、化学・化粧品・製薬・食品・医療・行政等の各分野の実務者を招聘する授業や、バイオ・ヘルスケア業界を題材としたPBL型授業を開講 他大学 化学・生命科学分野の大学が多く立地する滋賀県において、授業等の共同開講、共同研究、教員・学生の交流など、関連分野における教育連携を中心的に推進				
---------------	---	--	--	--	--

教育内容・育成する人材像	学部・修士・博士課程一貫での研究指導を通じて、専門分野の知見・経験を継続的・集中的に体得する教育環境を強化。研究力・論理的思考力・プレゼンテーション力・データ分析力を涵養				
環境・エネルギー分野	新たな理論や法則を生み出す探究型のアプローチ(理学的視点)と、知識や技術を応用し社会実装を志向する問題解決型のアプローチ(工学的視点)を両輪とした教育を展開。カーボンニュートラル社会を実現し、新たな価値創造を担う人材を育成				
バイオ分野	微生物学・植物科学を柱とした遺伝子・生体物質の機能探求とそれらに基づく環境・食料・エネルギー問題等の課題解決に向けた教育を展開。食/農のサステナビリティを実現し、生命が生み出す機能を分子～生態系まで広範囲に解析できる専門人材を育成				
バイオインフォマティクス分野	AI for Scienceの趨勢に即した、生命科学と情報科学の融合によるライフサイエンスの探求・創生を担う「AI×バイオ」人材を育成				
医療・健康分野	がん、感染症、老年医学、臨床疫学分野の教育を拡充。医療技術評価分野等の展開と併せた「次世代医科学」を先導し、多角的な観点から”Well-being”に取り組む人材を育成				

